

令和3年度 第75回関東高等学校女子バスケットボール大会

令和3年6月13日(日) Bブロック 2回戦 ALSOKぐんまアリーナ Dコート 第1試合

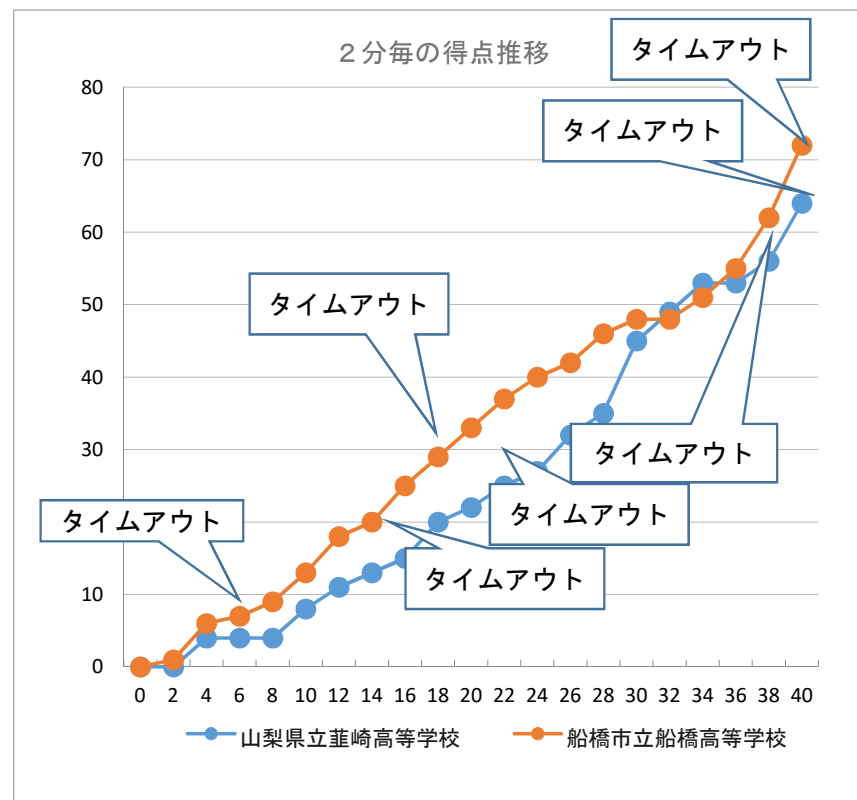
チームA	64	8	1st	13	72	チームB
山梨県立韮崎高等学校 (山梨県)		14	2nd	20		船橋市立船橋高等学校 (千葉県)
		23	3rd	15		
		19	4th	24		
			OT			

Aチーム： 山梨県立韮崎高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		4	河野 しずく	4	0	3	2	2	0	0	5	0	0	0
2		5	志村 百萌香	18	4	7	3	7	0	0	5	0	1	1
3		6	内藤 葉奈	16	3	6	2	5	3	4	1	1	7	8
4		7	福島 那菜	19	0	2	9	21	1	3	1	4	7	11
5		8	赤澤 璃杏	7	0	2	3	16	1	2	3	4	1	5
6		9	太田 礼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7		10	田中 海麗											
8		11	末木 絵梨	0	0	0	0	3	0	0	3	2	0	2
9		12	星野 藍											
10		13	磯部 真菜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11		14	新海 萌花											
12		15	浜口 もも											
13		16	秋山 真夢											
14		17	石川 琴子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15		18	天野 結衣											
HC/TEAM			仲田 浩士											
			合計	64	7	20	19	54	5	9	18	11	16	27

Bチーム： 船橋市立船橋高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		4	石田 美羽	11	0	1	5	10	1	2	0	2	0	2
2		5	本間 涼	14	0	0	6	11	2	4	0	2	4	6
3		6	石倉 菜々海	9	1	3	3	5	0	1	0	2	1	3
4		7	重井 ひなた	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
5		8	大屋 佳留菜	4	0	0	2	4	0	0	1	2	3	5
6		9	椎名 瞳	13	0	2	4	9	5	6	1	3	6	9
7		10	山本 柚香	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8		11	木村 美月	5	1	4	0	5	2	2	0	1	2	3
9		12	榑原 伶安	4	0	0	2	5	0	0	4	1	2	3
10		13	日下部 和沙	2	0	0	0	0	2	4	2	0	0	0
11		14	永野 花奈	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12		15	小笠原 美杏	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
13		16	菊地 萌乃香	6	0	1	3	7	0	0	1	0	3	3
14		17	大塚 乃愛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
15		18	渡部 知新	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0
HC/TEAM			井上 知徳											
			合計	72	2	11	26	57	14	21	10	13	23	36



戦評 記者：羽鳥 綾 (群馬県高体連)

1Q:両チームともにハーフコートマンツーマンディフェンスで試合開始。セットオフェンスでシュートチャンスをうまく作る韮崎だが、得点に繋げることができない。市立船橋がディフェンスリバウンドからの速い攻撃を連続で成功させ、8-13市立船橋リードで第1Q終了。

2Q:開始直後、市立船橋は#6の3Pと#5の1対1が成功し一気に主導権を握る。韮崎も#6の3Pと1対1で応戦するが、市立船橋の勢いを止めることができない。残り5:20、韮崎がタイムアウトを要求。韮崎はディフェンスを2-2-1ゾーンプレスからの2-3ゾーンに変える。#4、#5、#7のシュートが決まり追い上げを試みる韮崎だが、市立船橋#9が連続得点の活躍を見せ、22-33と市立船橋がリードを広げ後半へ。

3Q:韮崎がハーフコートマンツーマンディフェンスに戻し後半開始。守備を固めたい韮崎だが、市立船橋が#5のインサイドプレイを中心にリードを広げていく。開始3分半、27-40で韮崎タイムアウト。スタートメンバーをベンチに下げ始めた市立船橋に対し、韮崎はオールコートマンツーマンプレスで仕掛けていく。激しいディフェンスと#7の積極的なオフェンスで一気に点差を縮めていく韮崎。市立船橋はファウルが重なり、45-48と韮崎に追い上げを許す形で第3Q終了。

4Q:韮崎ハーフコートマンツーマン、市立船橋オールコートマンツーマンで開始。スタートメンバーをコートに戻した市立船橋だが、韮崎のチームディフェンスを攻めきることができない。開始2分、#7の連続得点により韮崎が逆転に成功。#5、#8のアウトサイドシュートも決まり、ペースをつかむ韮崎。一方、市立船橋はミスが目立ち得点が伸びない時間帯が続く。残り4分、#4の1対1が成功したのを皮切りに、市立船橋が息を吹き返す。#11の3Pや#9の1対1も成功し、再び市立船橋がリードをする展開に。最後まで激しいディフェンスで粘った韮崎であったが、スピードと決定力で勝る市立船橋が64-72で準決勝進出を決めた。

主審	第1副審	第2副審
瓜田 真司 (東京都)	古谷 香 (群馬県)	佐藤 圭 (群馬県)